

# 資料編

市内公共施設配置図

公共施設地域実態マップ

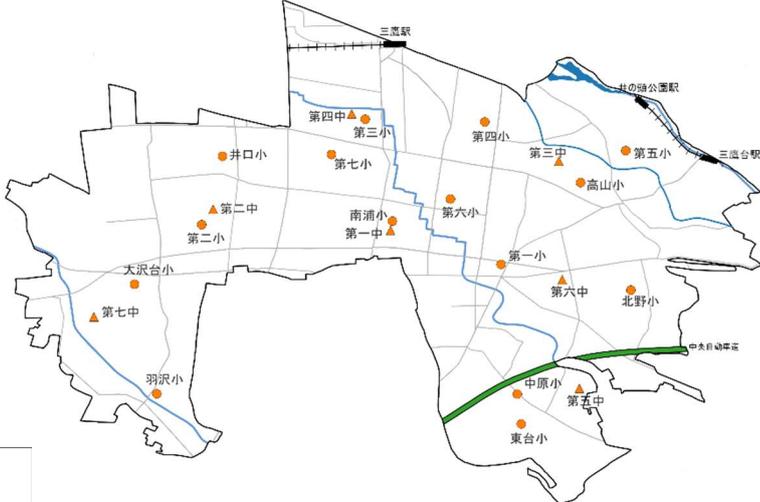
児童・生徒数の将来推計と学校の配置状況

用語解説

計画策定の経過

## 市内公共施設配置図

計画対象施設（小規模な建築物や特殊な建築物を除く、市が管理する公共建築物）を掲載しています。

施設分類	市内配置図
行政系施設	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●：庁舎等</li> <li>▲：消防・防災</li> </ul>
学校教育系施設	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●：小学校</li> <li>▲：中学校</li> </ul>
市民文化系施設 （コミュニティ・センター）	



施設分類	市内配置図
スポーツ・レクリエーション系 施設	<p>三鷹駅 みたか都市観光協会 井の頭公園駅 三鷹台駅 月道場・アーチェリー場(複合) 総合スポーツセンター(複合) 大沢ふるさとセンター 大沢野川グラウンド(管理棟) 大沢総合グラウンド(管理棟) 中央自動車道</p> <p>市外：川上郷自然の村</p>
保健・福祉系 施設	<p>三鷹駅 上連雀福祉住宅 福祉コアみれん 三鷹第一作業所(複合) 放課後等デイサービス施設(複合) 井の頭福祉住宅 三鷹台駅 三鷹公園駅 三鷹駅前福祉住宅 車礼老人保健施設はなかいどう 北野ハピネスセンター 三鷹市新川作業所 中央自動車道 高年齢センターけやき苑 大沢福祉住宅 旧どんぐり山施設 総合保健センター(複合) 福祉センター(複合)</p>
子育て支援系 施設 (保育園等)	<p>三鷹駅 上連雀 三鷹駅前 のびのびひろば 下連雀 すくすくひろば 三鷹西野 野崎 大沢台 三鷹ちどりこども園 あけぼの 山中 中央 南浦西 南浦東 南浦 車礼 新川 中原 東台 井の頭公園駅 三鷹台駅 中央自動車道 子ども発達支援センター(複合)</p> <p>【凡例】 ●：保育園 ▲：その他</p>



# 公共施設地域実態マップ

計画対象施設について、住区と機能毎に分類し、配置状況を整理した。

		大沢	西部	三鷹駅周辺	
全市の施設	市民文化	ホール等			
		集会・交流施設		国際交流センター 女性交流室 (2001)	
	社会教育	文化施設	絵本の家 (2009) 水車経営農家 (不明) (2017) 古民家 (2017)	太室サロン (2007) 美術ギャラリー (1993) 井心亭 (1987) 有三記念館 (不明)	アニメーション美術館 (2001)
		図書館 生涯学習施設			ネットワーク大学 (2005)
		スポーツ・レクリエーション施設	ふるさとセンター (1993) 大沢総合グラウンド管理棟 (2009) 大沢野川グラウンド管理棟 (2003)		観光協会 (2005)
		子育て支援施設		すくすく (1996)	のびのび (2001)
		保健・福祉施設	旧どんぐり山 (1995) 大沢福祉住宅 (1992)	けやき苑 (1992) 福祉コアかみれん (1995)	三鷹駅前福祉住宅 (1997) 上連雀福祉住宅 (1995) 三鷹第一作業所 (1987)
	行政	庁舎等		リサイクル市民工房 (1999)	消費者活動センター (1982)
		消防分団等	第十 (2007)	第八 (1991) 第九 (1995)	
		災対本部倉庫			
	産業・公営住宅	大沢住宅 (2003)		産業プラザ 駐車場 (1999) 三鷹駅前 駐車場 (1998) 下連雀市 民住宅 (2001) 協同ビル 貸店舗 (2005)	
日常生活施設	市民文化	コミュニティセンター	大沢CC (1973) 井口CC (1978)	駅前CC (1993)	
		地区公会堂等	大沢 (1979) 大沢原 (1985) 大沢下原 (2005)	井口西 (1991) 深大寺 (1991) 東野 (1986) 井口 (1992) 野崎 (1984)	上連雀 堀合 (1979) 三鷹 駅前 (1982) 上連雀 通北 (1976) 上連雀 新通北 (1986) 下連雀 (1987) 下連雀 むらさき (1974) 上三新定 集会施設 (1995)
	社会教育	図書館	西部 (1986)	駅前 (1993)	
	学校教育	小学校	羽沢 (1980) 大沢台 (1968)	第二 (1967) 井口 (1971)	第四 (1963)
		中学校	第七 (1983)	第二 (1971)	
	子育て支援	保育園等	大沢台 (1971)	西野 (2007) 野崎 (1980)	上連雀 (1976) 三鷹駅前 (2001) 下連雀 (1976)
		学童	羽沢小 (羽沢小内) 大沢台小 (1994)	二小A (1987) 二小B (2000) 井口小 (2013)	四小 (1969)
		児童館		西多世代 (1983)	むらさき子どもひろば (1969)
	行政	市政窓口	西部市政窓口 (1985)		駅前市政窓口 (2005)

市外：川上郷自然の村 (1990)

<凡例>



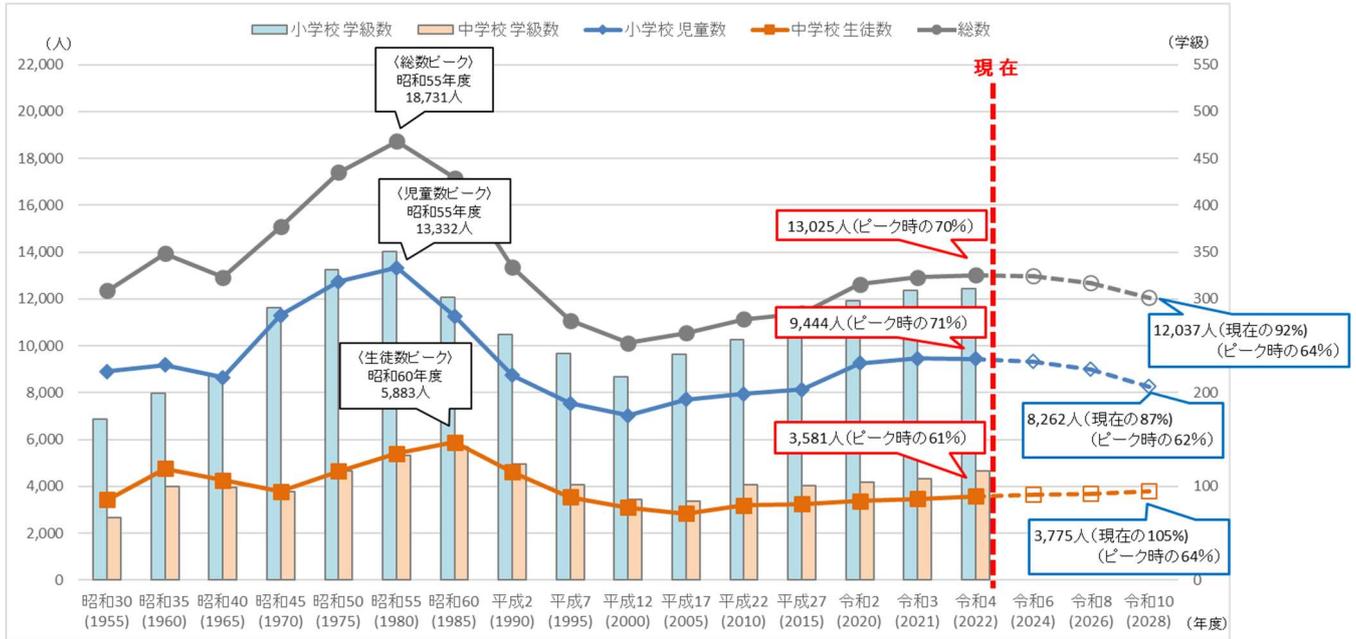
- ・ ( ) は建築年度を表す。
- ・ 複数棟の場合、面積は合算、建築年度は最も古いものを採用している。
- ・ 施設名の下線は借受施設であることを表す。



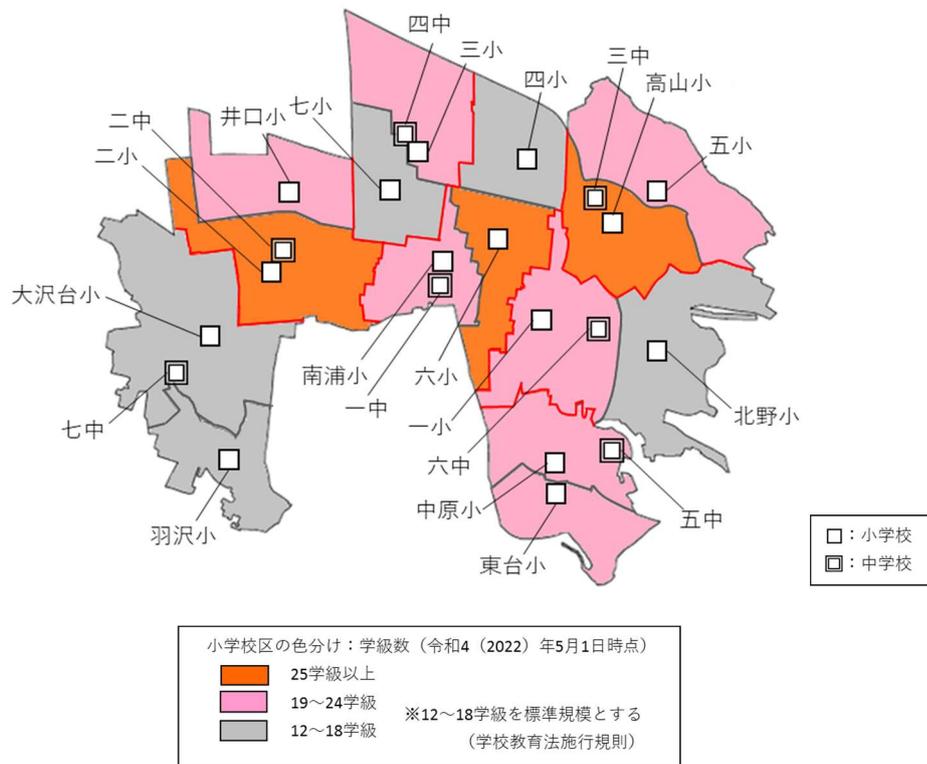
連雀	新川中原	東部	井の頭
芸術文化センター (1995) 市民協働センター (1980)	公会堂 光のホール (1965) さんさん館 (2012) 市民センター		
三鷹図書館 本館(1983)	生涯学習センター (2016) 総合スポーツセンター (2015) 発達支援センター (2016)		
上連雀分庁舎 (2016)	福祉センター (2016) 防災センター (2016)	はなかいどう (1999)	井の頭福祉住宅 (1994)
被災者宿泊施設 (2004) 第六 (2004) 第七 (2006)	元気創造プラザ(倉庫) (2016)	第二 (2002) 第三 (1989) 第五 (1990)	第四 (1993)
シティコート 下連雀貸店舗 (1996)	新川 (1983)	牟礼 (2015)	井の頭 (1984)
連雀CC (1984)	新川中原CC (1981)	牟礼CC (1977)	井の頭CC (1986,2004)
上連雀 (1993) 山中 (1975) 下連雀南浦 (1984) 下連雀八丁目 (1989)	中原一丁目 (1990) 中原 (1973) 新川三丁目 (1991)	新川宿 (1992) 天神前 (1988) 牟礼 (2015) 牟礼西 (1971) 高山 (1982) 牟礼東 (1987) 牟礼南 (1993)	五鷹台 (2014) 井の頭東部 (1980) 井の頭 (1979)
	南部 (2013)	東部 (1979)	
第七 (1966) 第三 (2012) 第四 (1967)	中原 (1966) 東台 (2010) 第五 (1969)	第一 (1966) 北野 (1969) 第六 (1976)	高山 (2001) 第三 (1998) 第五 (1966)
山中 (1972) ちどり (1971) あげぼの (1982) 中央 (2010) 南浦西 (2012) 南浦東 (1975)	こじが (1987) 新川 (2003) 東台 (1972) 中原 (1973)	牟礼 (2003)	
七小 (2008) 三小 (2013) 六小 (2008) 南浦小 (2003)	中原小 (1992) 東台小 (2006) 一小A (1996)	一小B (2004) 北野小 (2008) 高山小 (2013)	五小 (2014)
	東多世代 (1978)		
	東部市政窓口 (1985)		三鷹台市政窓口 (1984)

## 児童・生徒数の将来推計と学校の配置状況

市全体の小学校児童数は、令和10（2028）年までの今後6年間で1182人減少することが予測されています。中学校生徒数はほぼ横ばいで推移する予測となっています。



【児童数・生徒数の将来推計】



【現状の小学校規模と小・中学校の配置状況】

## 用語解説

### ◆あ行

#### ICT

「Information and Communication Technology」の略。「情報通信技術」と訳される。ICT教育とはパソコンやタブレット端末、インターネット等の情報通信技術を活用した教育手法のこと。

### ◆か行

#### 学校3部制

学校施設を時間帯に応じて機能転換し、学校教育の場（第1部）、多様で豊かな体験・経験ができる放課後の場（第2部）、夜間などにおける生涯学習・スポーツ・地域活動など、大人を主とした多様な活動の場（第3部）として活用する考え方

### ◆さ行

#### スクール・コミュニティ

学校やそこに通う子どもたちをきっかけにしたコミュニティ、つながり

市では、学校や子どもたちに関する協議や活動を通じて保護者や地域の方々同士の交流が生まれ、こうした交流でできるつながり＝スクール・コミュニティを広げ、より多くの人々の協力を得て、子どもたちの学びや地域をさらに豊かにする取り組みを進めている。

### ◆た行

#### 耐震化

旧耐震基準の建築物の地震に対する安全性の向上を目的に、改修・改築等を実施すること。

#### 耐震基準

建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、建築基準法の改正により、昭和56（1981）年6月1日から導入された基準を新耐震基準といい、それ以前の基準を旧耐震基準という。

新耐震基準においては、震度5強程度の地震に対しては、構造体を無害にとどめ、大地震（震度6強～7程度の地震）に対して、人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害が生じないことを目標に、大地震時に必要な保有水平耐力を建物が保有しているかどうかを検討するよう規定している。

#### 耐震診断

旧耐震基準で設計された既存の建築物を現行の耐震基準（新耐震基準）で耐震性の有無を調査し、確認すること。

### ◆は行

#### 分散ネットワーク型公共施設

公共施設の再編にあたって、市内全域をサービス対象とする施設（機能）については、より多くの人々が利用しやすい三鷹駅周辺や市民センター周辺を中心に、日常生活圏内のコミュニティをサービス対象にする施設（機能）については、各住区に学校施設及びコミュニティ・センターを地域の核としながら集約化・複合化して配置し、それらが情報ネットワーク等で互いに連携される公共施設整備の考え方

## 防災上重要な公共建築物

三鷹市地域防災計画に位置付けられている災害対策本部の設置施設及び避難所設置施設

### ◆ら行

#### ライフサイクルコスト

新設、維持管理、改修、解体を含めた施設の生涯費用の総計

## 計画策定の経過

年 度		主な取組内容
令和2年度 (2020年度)	1月	・「三鷹市新都市再生ビジョン（仮称）」策定に着手
令和3年度 (2021年度)	9月	・「新都市再生ビジョン（仮称）策定に向けた基本的な考え方」公表
	10月	・「公共施設の今後のあり方」へのアイデア募集（～11月） （意見数 3名8件）
令和4年度 (2022年度)	5月	・「新都市再生ビジョン（仮称）中間まとめ」公表
	9月	・「三鷹市新都市再生ビジョン（仮称）（案）」策定
	10月	・「三鷹市新都市再生ビジョン（仮称）（案）」に対するパブリックコメントの実施（～11月） （意見数 6名15件）
	12月	・「三鷹市新都市再生ビジョン」策定

計画策定には、経過に合わせて学識経験者よりご意見をいただきました。

## 学識経験者

山本 康友 東京都立大学客員教授

### 《経歴》

東京都財務局コスト管理室長、港区用地活用担当部長、高輪総合支所長、東京都財務局技術管理担当部長等を経て、東京都立大学客員教授、上智大学アジア人材養成研究センター客員教授、創価大学学士課程教育機構客員教授

博士（工学）、一級建築士、公共建築の保全とFMのネットワーク運営委員会委員長、全国公立施設文化協会コーディネーター

### 《専攻》

公共施設マネジメント、公民連携、地球環境問題等

### 《著書》

「公共施設の再編 - 計画と実践の手引き - 」、「公共施設マネジメントハンドブック」等

### 《現在の委員等》

経済産業省、文部科学省、東京都、板橋区等

**三鷹市新都市再生ビジョン**

令和4年12月策定

発行 三鷹市

編集 三鷹市都市再生部まちづくり推進課

181-8555 三鷹市野崎1-1-1

電話 0422(45)1151